

～極上の“食・時・おもてなし”を味わう幻の列車～



「或る列車」



- ・ 2022年3月～8月分の運行日決定！
- ・ ご予約締切日を10日前から5日前へ変更
ご乗車しやすくなりました！！（WEB販売のみ）

「或る列車」は、2021年11月13日（土）よりスイーツコースからお食事中心のコース料理を満喫できる列車に生まれ変わり、博多～由布院間を大好評運行中です。

また、3月以降のご予約については、締切日を10日前から5日前に変更し、よりご乗車しやすくなります。

この機会に東京・南青山の名店「NARISAWA」のオーナーシェフ成澤由浩氏が監修したコース料理を久大本線の風光明媚な車窓と共にお楽しみください。

1 運行について（博多 ⇄ 由布院）

・ 運行日：3月4日（金）～8月29日（月）（運行日数88日間・148本）

・ 運行時間：

金・土・月・祝日（※土・祝日は博多駅11:06発）

【午前便】 博多駅（11時12分頃発）⇒ 由布院駅（14時07分頃着）

【午後便】 由布院駅（14時44分頃発）⇒ 博多駅（17時31分頃着）

日曜日

【午前便】 博多駅（9時00分頃発）⇒ 由布院駅（13時16分頃着）

【午後便】 由布院駅（13時47分頃発）⇒ 博多駅（17時43分頃着）

※2022年1月現在の予定です。掲載時刻は変更となる場合がございます。



2 メニューについて

お料理の監修は、東京・南青山のレストラン「NARISAWA」のオーナーシェフ 成澤 由浩シェフです。

九州の旬の厳選された食材を使用した、「或る列車」オリジナルメニューをお楽しみください。

M E N U ※メニューは季節に応じて変更予定

- ・ 前菜 ・ お魚料理 ・ お肉料理
- ・ スイーツ ・ ミニスイーツ
- ・ フリードリンク（九州こだわりのドリンク）

※ 写真は、全てイメージです。



3 メニューの監修について

成澤 由浩シェフ

東京・南青山のレストラン「NARISAWA」のオーナーシェフ。料理界のアカデミー賞と呼ばれる”ワールド 50 ベストレストラン”に日本で唯一11年連続で入賞。2019年に開催されたG20大阪サミット首脳晩餐会では料理担当を務めた。

自然への敬意を込め、心と体に有益で、環境に考慮した持続可能な美食を発信し続けている。



4 久大本線を楽しむ旅のご提案

「或る列車」と特急 ゆふいんの森で楽しむ久大本線の旅

モデルコースA 「或る列車」午前便ご利用の場合

(1日目) 「或る列車」にご乗車!!

(博多駅 11:06 発 → 由布院駅 14:07 着)

ご宿泊 お宿でゆっくりと由布院を満喫

(2日目) 午前中 由布院を散策

特急 ゆふいんの森にて博多へ

(由布院駅 15:50 発 → 博多駅 18:05 着)



モデルコースB 「或る列車」午後便ご利用の場合

(1日目) ・特急 ゆふいんの森にて由布院へ

(博多駅 9:24 発 → 由布院駅 11:37 着)

途中下車し、日田の街並み、豊後森機関庫、少し足を延ばして九重“夢”吊大橋などの散策もおすすめ

・ご宿泊 お宿でゆっくりと由布院を満喫

(2日目) ・「或る列車」にご乗車!!

(由布院駅 13:47 発 → 博多駅 17:43 着)



「或る列車」と「特急 ゆふいんの森」で、久大本線エリアを満喫!!

ユフココクスヒタ (ひた・玖珠・九重・ゆふ連携観光対策会議) と一緒に、久大本線を盛り上げます。



5 運行日について（JR九州企画・実施分）

※2022年1月7日現在

2022年3月							2022年4月							2022年5月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6					1	2	3							1
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

2022年6月							2022年7月							2022年8月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

... 運行日（午前便・午後便）
 ... 運行日（午前便のみ）
 ... 運行日（午後便のみ）

6 お申込み・ご予約について

「或る列車」は、「JR九州企画・実施分」と、「主な旅行会社企画・実施分」等として運行します。

(1) JR九州企画・実施分について

- ① 発売開始：2022年1月31日（月）11時予定
- ② お申込箇所：「或る列車」専用ホームページ、駅旅行の窓口
 ※JR九州トラベルデスクでのお電話でのお申し込みは、2022年2月末で終了します。

★ WEBからの直接予約は5日前まで可能に！

詳しくは、「或る列車」ホームページをご覧ください。（<https://www.jrkyushuaruressha.jp/>）

(2) 旅行会社企画・実施分について

全国の主な旅行会社にて販売いたします。詳細については、各旅行会社にお問合せください。

(3) 新型コロナウイルスの影響により、運休する場合がございます。

7 商品内容について（JR九州企画・実施分）

(1) 内 容

「或る列車」（午前便もしくは午後便）

+

コース料理＋フリードリンク

(2) 旅行代金 <お一人様（税込）>

座席（席番）			ご利用人員	大人	子ども※1
2名利用テーブル	1号車	1～5番	1名様	41,000円	—
			2名様	29,000円	24,000円
4名利用テーブル※2		11～13番	3名様	29,000円	24,000円
			4名様	29,000円	24,000円
1名利用個室※3	2号車	21番	1名様	35,000円	—
2名利用個室		23～28番※4	1名様	41,000円	—
				2名様	29,000円

※1 10歳未満のお子さまはお申込みいただけません ※2 4名利用テーブルを1～2名様でご利用いただくことはできません ※3 1名利用個室を2名様でご利用いただくことはできません

※4 1・11・27番席は他より窓のスペースが小さくなっております

8 車内販売商品について

「或る列車」車内限定商品です。ご購入の際はぜひお問い合わせ下さい。

商品名	販売額 (税込)	内容
焼き菓子 (オリジナル缶入り)	2,000 円	スイーツコースと同様にNARISAWAの成澤由浩氏監修。厳選した食材を使用したマドレーヌとフィナンシェのセット。(※)
オリジナルキーホルダー	1,500 円	「或る列車」の形をしたオリジナルのキーホルダー。
オリジナルロゴキーホルダー	2,000 円	「或る列車」のロゴマークにスワロフスキーをあしらったキーホルダー。
オリジナルCD	2,000 円	「或る列車」車内BGMで使用している楽曲のCD。オリジナル6曲を含む10曲を収録。
ミニアルディーズ皿セット +木皿	4,000 円	車内で使用しているスクエア皿3枚セット(波佐見焼の窯元「一真窯」製)と木製のアンダープレート。(※)
コーヒースプーン	5,000 円	大分県由布院の木工房「アトリエとき」製で車内でも使用するコーヒースプーン(ロゴ入)。(※)
タンブラー	6,000 円	長崎県の長崎ガラス工房「瑠璃庵」製で車内でも使用しているタンブラー(グラス)。(※)

(※) 個数限定のため、品切れの場合もあります。

9 新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組みについて

お客さまに安心してご利用いただくため、以下の取り組みを実施します。

- ・ご乗車前に体調確認(検温・体調チェック)をさせていただきます。その際、発熱や体調がすぐれないなどの症状があるお客さまは参加をご遠慮いただく場合がございます。
- ・ご乗車の際は、マスク着用・手指消毒のご協力をお願いいたします。
- ・客室乗務員は、お食事等のサービス時にマスクを着用いたします。
- ・車内清掃時には、手の触れやすい箇所の消毒を行います

(参考)「或る列車」とは

明治39年(1906年)、当時の「九州鉄道」が米国・ブリル社に発注したものの、「九州鉄道」が国有化されたため、活躍する機会がなかった「九州鉄道ブリル客車」、通称「或る列車」。当時日本で最も豪華な設備を備えていた“幻”の豪華列車です。鉄道をこよなく愛し、世界的な鉄道模型の神様といわれた故原信太郎が作成した模型。

これを元に、「原鉄道模型博物館」副館長を務める原健人氏の協力により、水戸岡鋭治+ドーンデザイン研究所がデザイン・設計しました。

